

「みえ高校生県議会」 今後の対応等に関する答弁の概要

教育警察常任委員会

学校名	質問項目等	答弁した委員長	今後の対応等に関する答弁の概要	関係する委員会
四日市南高校	<p>○三重の高校生の英語力(コミュニケーション力)の向上について</p> <p>現在の授業では、本物の英語に触れる機会が少なく、また、授業以外でも他国の人と交流する機会はほとんどない。今後、グローバル化に対応するため、県では、この状況をどう受け止め、今後、具体的にどのように英語力を高めていこうとしているのか。</p>	<p>村林委員長 (教育警察)</p>	<p>・今回、四日市南高校の皆さんから、学ぶ気はあるのに機会が少なく、不安でいっぱいであるという話を聞かせていただいた。こういう声があるということは、どこかに解決すべき問題があるのだと思う。委員会として、どこに問題があるのかを探っていきたいと考える。</p>	<p>教育警察</p>
	<p>文部科学省が英語教育に関する指針を出しており、岩手県などではCAN-DOリストを作るなどしているが、三重県の対策は。</p>	<p>村林委員長 (教育警察)</p>	<p>・さらに進んだような、ほかの県でやっておるようなことをやれないのか、あるいはどういうものがあるのかということは、持ち帰って、委員会で議論したいと思う。</p> <p>・文部科学省の指針については、そういうような説明はまだ受けたことがないので、調べてみたいと思う。</p>	<p>教育警察</p>
津高校	<p>○将来の三重県を担う青少年の育成について</p> <p>三重の将来を良くするためには若者の力が必要であり、そのためには若者に三重県の魅力や三重の良さを伝え、まずは自分の地域のことを深く知る教育の推進が必要であると思うが、どのようにしているのか。</p>	<p>村林委員長 (教育警察)</p>	<p>・自分たちが住んでいる地域の課題を解決するため、高校生が地域に出向き、地域住民の皆さんと協議しながら取組を進めている学校もある。(例えば、尾鷲高校の例)</p> <p>しかし、このようなことをやっているところ(地域と一緒に課題を解決するようなどころ)は特に人口流出の激しい地域で、さらに小規模な高校というところが多いので、都市部の高校であるとか、大きな進学校であるとか、そのような高校で地域と密着していく取組というのはどういうことができるのかということを、当委員会としても今後さらに議論を深めていきたいと思う。</p>	<p>教育警察</p>

<p>高田高校</p>	<p>○三重の高校生サミット定期開催の提案</p> <p>高校生サミットのような県公認ディスカッション機関の定期開催、同機関を通じた教育の活性化、更には、同機関と県議会との連携を図っていく取組を進めることはできないか。</p>	<p>村林委員長 (教育警察)</p>	<p>・県の教育委員会は、平成26年度から学校の枠を超えたディスカッションを行う交流の場、みえ未来人育成塾というようなものをこれまでも開催してきた。今回、三重の高校生サミットがあり、また次年度以降も何らかの形で開催する方向だということには聞いているが、検討されているものがどういう方向になるのかということは、今御提案いただいたことを踏まえて、委員会に持ち帰って議論したいと考えている。</p> <p>・今までの未来人育成塾というのは、講師の方を呼んで、その講演をもとにディスカッションしていく、それはディスカッションプラス報告会という形だったそうだが、今回は断然パワーアップしており、学生の参加希望も断然大きいし、提言もするという高校生サミットとなった。さらに、それを踏まえて、今後どうしていくのかということ、委員会としても議論していきたい。</p> <p>・ただ、これまでは教育委員会の取組なので、県立高校が対象だった。私立高校が参加できるものになるのかどうかというのは分からない部分もあると思うので、サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員長や、私立を所管する環境生活農林水産常任委員長とも話をする必要もあるかもしれないが、ぜひ御提案いただいたような形の方向で、より良い議論の場が作れたらというふうに議論していきたいと思う。</p>	<p>教育警察</p>
<p>川越高校</p>	<p>○学校の安全確保について</p> <p>県内の県立学校の周辺に街灯(ブルーライト等)の設置は可能か。 防犯カメラやモニターフォンをすべての県立学校へ設置することは可能か。</p>	<p>彦坂委員長 (環境生活農林水産)</p>	<p>・私どもの委員会としても、県内全域の防犯意識が高まるよう、いただいた内容を参考にしながら、しっかりと今後委員会の場で議論していきたいと思う。</p>	<p>環境生活農林水産 教育警察</p>

<p>暁高校</p>	<p>○「伊勢志摩サミット」後のグローバル化について</p> <p>県は、国際化についてどのようなことを推進していくのか。 また、サミット効果が見込めなくなった場合の政策はどのようなものを考えているのか。</p>	<p>中嶋委員長 (サミットを契機とした地域の総合力向上調査)</p>	<p>・御提案にあったようなSNSや、例えばトリップアドバイザーなどのスマホアプリ、外国のマスコミ関係者を対象としたプレスツアーなどを活用して、伊勢志摩、三重県の魅力を発信し続け、海外から観光客や国際会議を呼び込み、観光産業の稼ぐ力を引き出し、強化する取組を進めていけるよう県の担当部局へ働きかけていく。</p> <p>また、ジュニアサミットをはじめ、三重県の若者や子どもたちが世界との交流や理解を深める機会を得ることができたが、これを一過性に終わらせることなく、高校生サミット定期開催など、公立私立関係なく、グローバル社会で活躍できる次世代の育成にも引き続き力を入れていくべきだと考える。</p> <p>サミットのレガシーを十分に生かし、三重県が国際的にもその存在感を高めていく取組をさらに加速化させていきたいと思う。</p> <p>・三重県にとっては、ポストサミットこそが地域の総合力が試される真の機会となる。それは与えられるものではなく、私たちが皆でつくり上げていくものである。こうした観点から、今後とも特別委員会で議論を深めていきたいと考えている。</p>	<p>戦略企画雇用経済 教育警察 サミットを契機とした地域の総合力向上調査</p>
<p>東紀州 くろしお学園</p>	<p>○東紀州地域における雇用促進について</p> <p>特別支援学校の生徒を対象に行っている県庁での職場実習を東紀州地域でできないか。 また東紀州地域で療育手帳を所持している者の県職員採用について聞きたい。</p>	<p>大久保委員長 (総務地域連携)</p>	<p>・県議会としても、就業支援の取組にこれからも力を入れていくよう強く求めていきたいと思う。</p> <p>・職員採用の制度上、東紀州の採用枠を設定することは、なかなか難しくできないが、療育手帳を所持している方々のさらなる雇用の促進に向けて、計画的な採用に努めていく必要があるのではないかと思う。</p> <p>・私たちの委員会としても、今日いただいた提案や現状などを踏まえて、皆さんが住み慣れた自分の地域で働く意欲を十分に生かしていくことができるよう、今後の県の雇用促進に係る取組などについてしっかりと議論していきたいと思う。</p>	<p>総務地域連携 教育警察</p>

<p>津東高校</p>	<p>○通学路の危険性について</p> <p>危険な通学路の実態や状況について把握しているか。これまでどのような対策をとってきたか。</p>	<p>彦坂委員長 (環境生活農林水産)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県交通安全計画の中でも、子どもの安全を確保する観点から、通学路における歩道等の歩行空間の整備を積極的に推進するということが書き込まれているので、私ども委員会としても、このことが着実に実施されるよう注視してまいりたいと思っている。</li> <li>・委員会としても、通学路における危険箇所の安全対策や交通マナーに対する意識の啓発などが進められるよう、しっかり議論してまいりたいと思っている。</li> </ul>	<p>環境生活農林水産 防災県土整備企業 教育警察</p>
-------------	--	-----------------------------	--	---------------------------------------